

コミュニティの力で社会の仕組みを変えていく コミュニティ・オーガナイズングをはじめよう

(仮) 沼津市民シンクタンク創設実行委員会

団体 概要

地域課題について行政任せでなく、地域住民が主体的に協力しながら取り組むしくみ、地域活動を支えるシンクタンク（市民ファンド、協同組合などの研究も含む）の創設に必要な準備作業を行うことを目的としている。令和2年度に法人化するための組織委員会である。

沼津シンクタンク立ち上げに向けての趣意書 「[沼津市民シンクタンクを始めよう](#)」

HP <https://thinknumazu.wordpress.com/>



www.facebook.com/NUMAZUTHINK/

☎ 090-2689-2555 （事務局 コワダ）

mail thinknumazu@gmail.com

目的

「地域づくり」が、政策の焦点となっているが、「**市民の、市民による、市民のための地域**」を理論的・具体的に構成する実践は、いまだ始まっていない。これは、市民の権利を基盤とするアプローチが弱いことであり、その結果、地域づくりの過程において、市民の主体化が進まないということにある。いわゆる社会運動基盤の、**市民活動をつくるプラットフォーム**として市民シンクタンクを措定し、これを現実に動かすことで、地域づくりの基盤をつくることを目的とする。

初年度は、市民が、地域課題について行政任せでなく、**地域住民が主体的に協力しながら取り組むしくみや、社会への働きかけ方の手法（コミュニティ・オーガナイズング）**を学び、人材を育成することにより、持続可能な「地域づくり」（＝社会的連帯経済）が行うことができるための素地をつくる。

並行して地域課題について調査研究を行い、**持続可能な地域づくりを支えるシンクタンク（市民ファンド、協同組合などの研究も含む）を創設するための組織作りの基盤を作るための素地をつくる。**

実施概要

地域課題について調査研究を行い、持続可能な地域づくりを支えるシンクタンク（市民ファンド、協同組合などの研究も含む）の創設に向け、組織作り行っていく。そのために、社会をよりよくするための組織のあり方や社会への働きかけ方の手法（＝コミュニティ・オーガナイズング）を学び、人材育成を行い、持続可能な地域づくり（＝社会的連帯経済）を学ぶ。

手法・スケジュール

まちづくりファンドではコミュニティ・オーガナイズの学びを中心に行った。また並行して、静岡県立大学研究費事業を行い、社会的連帯経済についての学びや、諸外国の事例について学んだ。仲間づくりも行い、自主活動を、関係団体と行い。市民が対話をしながら連帯していく取り組みをおこなった。

沼津市民間まちづくりファンド事業

① コミュニティオーガナイズ連続講座

日程：8/31~9/1

講師：静岡県立大学国際関係学部教授
津富 宏氏

② コミュニティオーガナイズワークショップ

日程：10/12 台風のため延期

講師：静岡県立大学国際関係学部教授
津富 宏氏

③ 社会的連帯経済の実践

日程：10/26

講師：立教大学コミュニティ福祉学部教授
藤井敦史氏

④ コミュニティオーガナイズワークショップ

10/12の振替講座

日程：2/20

講師：静岡県立大学国際関係学部教授
津富 宏氏

ゲストスピーカー プレカリアートユニオン

①



②



③



④



16H講座
COの概論、戦略の立て方など、ロールプレーも交えて行う
講師：1名
講師補助：2名
スタッフ：2名

成果指標である戦略チャートを描くために8H講座を予定していたが台風のため延期

3H講座
COの実践事例、社会的連帯経済についての概論とワークショップ
講師：1名
スタッフ：2名

2H講座
戦略チャートを実践者の解説、ワークショップ
講師：1名
GS：2名
スタッフ：2名

手法・スケジュール

本事業と並行して行った他事業により、学びと取り組みを補い、市民連帯の礎を作った

静岡県立大学研究費事業

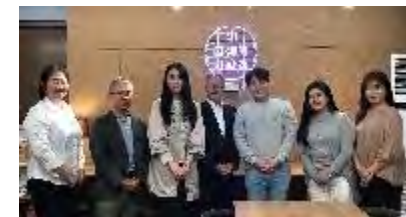
- ① 9/23 雇用なしで生きる現場を見てきたスペイン視察報告会
静岡県立大学教授 津富宏氏・県大生
- ② 11/10 SDGsを実現するために 社会的連帯経済が作る新しい社会
明治大学教授 柳澤敏勝氏
- ③ 12/ 4 私たちの「プラットフォーム」の作り方 韓国の「コミュニティ・オーガナイザー」とwebミーティング
ソウル市広津区社会的経済ネットワーク執行委員長 朴 用洙氏
モシムとサム研究企画委員 姜 乃榮氏
- ④ 12/14 地域アクションの力 コミュニティオーガナイズングで地域をつくるCRTP
CRTP研究会
日本福祉大学福祉社会開発研究所准教授 朴 兪美氏
名古屋市東区地域福祉活動計画住民ボランティア 明石雅世氏
災害ボランティアコーディネーターなごや 椿 佳代氏
- ⑤ 2/11 市民の力で地域をつくる ～草の根のミメーシス（感染）
小池達也氏

自主事業

- ⑥ 6/22 市民会議を始めよう(共催)
- ⑦ 7/17 参議院選挙みんなで話そう(静岡市)
7/20 参議院選挙みんなで話そう
- ⑧ 11/17 まわしよみ新聞をつくろう (共催)
- ⑨ 1/ 9 映画「アリ地獄天国」上映会&トークライブ (共催)
土屋トカチ監督 静岡県立大学教授津富宏氏
- ⑩ 1/18 ゴミから社会を変える持続可能な地域づくりゼロ 웨스트運動
と新しい沼津方式の提案 (共催)



11月 韓国ソウル市視察
持続可能な社会を作るための
社会的連帯経済の学び

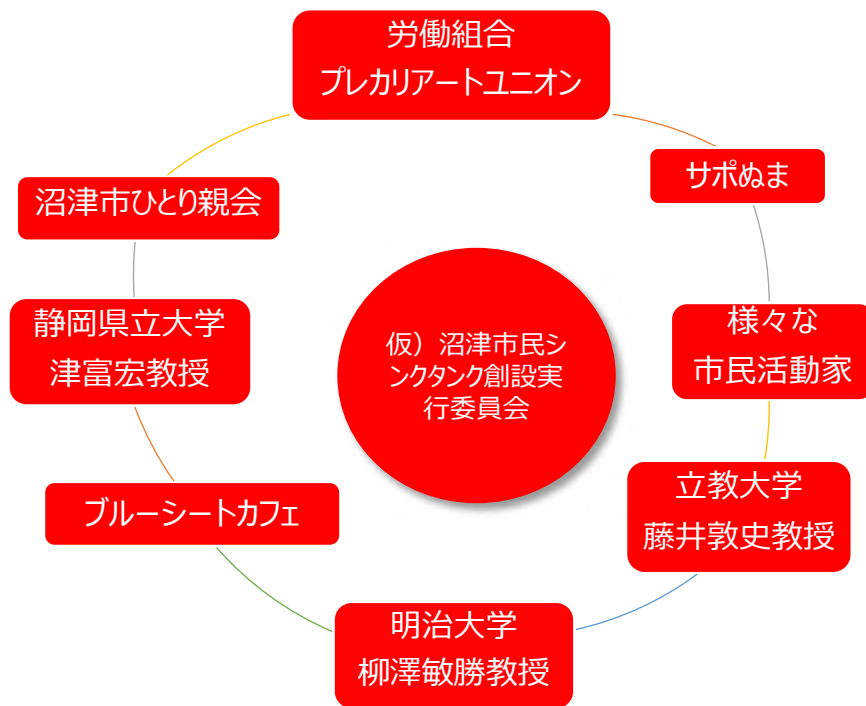
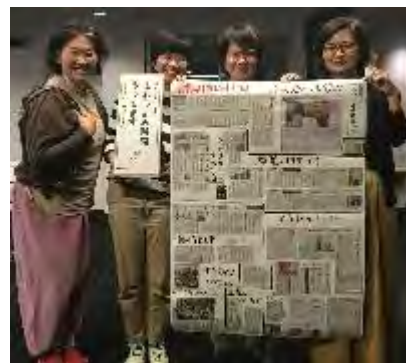


成果指標と結果

戦略チャートの作成や社会的連帯経済の具体案が作成できることについてとしていたが、台風による講座延期により、連続した講座が開催できず、2月に参加者を再募集して開催したため、事業効果を測ることが出来なかった。長時間講習を再調整することが難しいため、短時間講習となったが、戦略チャートの活用方法など実践者の話から理解を進めることができた

考察・事業効果

参加者と共に、選挙、労働やコロナ禍のひとり親家庭の給食や教育などの問題をCOの実践をする機会があり、SNSなどで可視化し、市民連帯を図った。



今後の課題・これからの展望

市民が作る市民活動センターを立ち上げ、市民シンクタンクを創設することを目指しているが、今後行政のお金に頼らずに、市民が場を拓き主体的な活動を行うために、持続可能な市民社会を形成するための組織化を行い、地域課題を解決するためのローカルファイナンスについてお金の仕組みを考え、困りごとを地域課題として共有する「対話」の手法である円卓会議を行い、市民のプラットフォームを作り、市民の連携を図り、地域経済を回していくことを目指す。

今後は、さらに市民や市民団体を繋いで、地域の課題を解決するための仕事づくりなどを行い、ローカルファイナンスを利用した自立した活動を目指す。

定例会議を行う。コロナウイルスの影響もあり、オンラインでの会議を現在、実施中

2020年度 市民のプラットフォームを作る住民組織化の実践

定期的な会議や学習会の情報は[フェイスブックページ](#)などで配信中。

自己評価

まちづくりファンド事業と県大研究費、自主事業で、たくさんの学びを多くの方と共有できたが、会の立ち上げに向けた話し合いが、台風の影響やコロナの影響もあり変更することとなり、先延ばしになってしまった。

立ち上げも難しいことが予測されるが、様々な手法を学んでいるので、できるときにできることを少しずつ行いながら地域づくりを行い、様々な団体に引き続き声を掛けながら、小さな市民活動センターを作ることに希望を繋げたい。

また、社会的連帯経済についての実践が今回は行うことが出来ず、学ぶことだけになってしまったので、今後は、お仕事づくりを行いながら、持続可能な地域経済の仕組みについて活動を行っていきたい。単年度で事業成果を測ることが難しい為、長期的な活動が持続的にできる仕組みも必要だと感じている。